

講演テーマ

RenNano 重鎖のみの抗体で血液脳関門通過,多特異性抗体,ADC, *in vivo* CAR-T 細胞治療法を加速

開催日時

2026年7月15日(水)

16:00(日本標準時間)

形式: オンライン (Zoom ウェビナー)

言語: 英語 (日本語字幕付き)

講演内容

従来の IgG 抗体の有効性は、特に固形腫瘍や血液脳関門 (BBB) を通過する際の組織浸透性によって制限されることが多いです。VHH 抗体および重鎖のみからなる抗体 (HCAs) は、小型で高い安定性を持ち、CDR3 領域が長いいため、隠れたエピトープや到達困難なエピトープへのアクセスを可能にする、革新的な治療法です。

本ウェビナーでは、完全ヒト HCAs の創薬プラットフォームを持つ Biocytogen 社の RenNano® についてご紹介します。多様な高親和性 HCAb 結合分子を送達するために開発された RenNano (RN) は、幅広い次世代治療戦略をサポートします。

RN 分子が、BBB シャトル設計、二重特異性抗体および多重特異性抗体、ADC、そして *in vivo* CAR-T 療法のための標的送達など、新たなアプローチをどのように実現しているかを紹介されます。代表的な症例研究を通して、その機能的性能と治療可能性について考察します。

これらの差別化された抗体フォーマットが、抗体ベースの治療法開発の可能性をさらに広げていきます。ぜひご参加ください。

ハイライト

- RenNano による完全ヒト HCAs および VHH の生体内直接発見を可能にする仕組み
- BBB シャトルおよび深部組織浸透のための RenNano の設計原理

- HCABs が多特異性抗体、ADC、in vivo CAR-T などの新規モダリティにおけるアプリケーション
- 機能性と治療可能性にフォーカスされたケーススタディー

講演者

W. Frank An, Ph.D
Vice President
Institute for Biologics
Biocytogen Boston Corp..

An 氏は、Biocytogen の抗体創薬部門であるバイオロジクス研究所の副所長を務めています。該当分野における抗体創薬プログラムを統括しながら、腫瘍学、自己免疫疾患、希少疾患など幅広い分野を対象とし、PCC、非臨床試験、IND、臨床試験段階に達したプログラムにも携わっています。ポートフォリオの展開、標的の創出、製品プロファイルの構築、そしてプロジェクト全体の管理と実施を担当しています。

An 氏はブランダイス大学で細胞分子生物学の博士号を取得後、ダナ・ファーバー癌研究所(Dana Farber Cancer Institute)およびハーバード大学医学部で免疫学の博士研究員を務めました。産業界と学术界で 20 年以上にわたり創薬に携わり、入社以前は、Bicycle Therapeutics, Horizon Discovery, Millennium Pharmaceuticals (現武田薬品工業)、ハーバード大学と MIT のブロード研究所などで重役を歴任しました。



RenNano重鎖のみの抗体で血液脳関門通過, 多特異性抗体,ADC, *in vivo* CAR-T細胞治療 法を加速

W. Frank An, Ph.D.

VICE PRESIDENT, INSTITUTE FOR BIOLOGICS

📅 7月15日 (水)

🕒 16:00 (日本標準時間)

📺 形式: オンライン (ZOOMウェビナー)

🗣️ 言語: 英語 (日本語字幕付き)

[Becoming the Global Headstream of New Drugs](#)



無料参加

プライバシーに関するお知らせ

本ウェビナーにおいて、登録時にご提供いただいた個人情報（氏名、メールアドレスなど）は、イベントの運営および関連情報の配信のみに使用されます。お客様の個人情報は厳重に管理され、第三者と共有したり、その他の目的で使用したりすることはありません。詳細については、プライバシーポリシーをご覧ください。

ご登録はこちらから：

https://biocytogen.zoom.us/webinar/register/WN_Au8J797AQ2qJDtkjw_2HDA